

はしがき

著者	野田 容助, 黒子 正人
権利	Copyrights 日本貿易振興機構 (ジェトロ) アジア 経済研究所 / Institute of Developing Economies, Japan External Trade Organization (IDE-JETRO) http://www.ide.go.jp
シリーズタイトル	アジア経済研究所統計資料シリーズ
シリーズ番号	93
雑誌名	貿易指数と貿易構造の変化
ページ	i-ii
発行年	2009
出版者	日本貿易振興機構アジア経済研究所 / Institute of Developing Economies (IDE-JETRO)
URL	http://doi.org/10.20561/00044762

はしがき

アジア経済研究所の発行する統計資料シリーズ (IDE Statistical Data Series: SDS) は貿易統計、国際産業連関表、人口統計等の途上国にかかわる経済統計を作成、整備、評価しつつまとめられたものであり、経済分析のための基礎資料として利用されてきている。本統計資料シリーズ No.93 の『貿易指数と貿易構造の変化』(Trade Indices and Change of Trade Structure) は貿易統計に関する課題を中心にまとめたものであり、UN の編集による UN Comtrade 貿易データを利用した貿易データの整合性の評価、貿易指数の作成と評価およびそれらにもとづく国際比較や分析を対象としている。

世界経済における各国経済の成長と変動を数量的に分析するために貿易連関モデルによって各国間を相互に連結させるのが世界経済モデルであるが、そのための基礎となるのが世界貿易マトリクスである。国際比較のために世界貿易マトリクスは国や商品分類等に関して共通の分類基準を用いていることが必要である。国際機関で作成される統計ではそれらの基準が整合性を保っており、しかも時系列でそれを利用とするとき商品分類の改訂や報告国あるいは相手国についての国の新生、分離あるいは統合による連続性に問題がないことは希であり、また統計の欠損値のため世界貿易マトリクスが必ずしも完全ではないことはよく知られている。

そうした問題を抱えているとはいえ世界経済モデルを利用するには世界貿易マトリクスの利用は避けて通るわけにはいかない。1国の貿易構造はその国の生産構造の反映であると同時に生産構造を変化させる要因でもある。したがって、その国の生産と貿易との連関構造あるいは関係を世界経済モデルに取り入れるためには世界貿易マトリク

スを実質的なタームで定義し直す必要がある。

アジア経済研究所の経常研究のひとつである「貿易指数の作成と応用 (IV)」研究会は世界経済モデルの構築で重要な役割を演ずる貿易連関モデルを推定する問題をデータの側面から検討する一方、貿易指数を推計することと貿易指数の利用については生産データとの連関を含め検討することを目的として2007年4月に発足した2年研究会である。本研究会は2003年4月に発足した「貿易指数の作成と応用 (II)」、2005年4月に発足した「貿易指数の作成と応用 (III)」の研究課題の方法論を基本的に引継いでその精密化と具体化に努めさらにそれらの一般化の試みをおこなっている。

貿易指数の作成と応用 (IV) 研究会の構成としては、主査を**野田容助** (NODA Yosuke : アジア経済研究所開発研究センター、マクロ経済分析グループ、非常勤嘱託職員)、幹事を**黒子正人** (KUROKO Masato : アジア経済研究所開発研究センター、マクロ経済分析グループ) が担当し、外部委員として、**木下宗七** (KINOSHITA Soshichi : 名古屋大学名誉教授)、**熊倉正修** (KUMAKURA Masanaga : 大阪市立大学大学院経済学研究科准教授)、**弦間正彦** (GEMMA Masahiko : 早稲田大学社会科学総合学院教授)、**中村 純** (NAKAMURA Jun : 経済統計・貿易統計の専門家)、**深尾京司** (FUKAO Kyoji : 一橋大学経済研究所教授)、内部委員として、**吉野久生** (YOSHINO Hisao : アジア経済研究所開発研究センター、国際経済研究グループ)、オブザーバとして、**植村仁一** (UEMURA Jinichi : アジア経済研究所開発研究センター、マクロ経済分析グループ長) が参加した。

本書は本研究会の最終成果の一部を取りまとめ

たものであり、東アジア諸国・地域および米国、東欧諸国の一部を対象として、第1部の貿易データの作成および整合性の評価と補正の課題、第2部の貿易指数の作成と評価の課題、第3部の貿易指数および関連指標にもとづく国際比較、第4部の資料編から構成される。

なお、アジア経済研究所研究企画部研究業務調整室課長代理の**高草木りつ子**氏には本書の印刷に関わる作業、同研究支援部研究情報システム課の**山口絵理**氏にはUN Comtrade 貿易データのダウンロード作業の協力を得たことを感謝し、付記する。

本書は貿易指数の作成と応用に限って検討しているが、この成果はまたより一般的な貿易統計を利用した貿易構造あるいは産業構造を考慮するさ

いにもいろいろな場面での示唆を与えるものになると思われる。

2009年3月

アジア経済研究所 開発研究センター マクロ研究分析グループ

「貿易指数の作成と応用 (IV)」研究会主査
野田容助

アジア経済研究所 開発研究センター マクロ研究分析グループ

「貿易指数の作成と応用 (IV)」研究会幹事
黒子正人